

令和4年度とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果

1 目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査実施日 令和4年4月19日(火) 全国学力・学習状況調査と同日

3 調査の対象

(1) 県内の公立学校に在籍する以下の学年の全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第4・5学年、義務教育学校前期課程第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年

イ 中学校調査

中学校第2学年、義務教育学校第8学年、県立中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

(2) 特別支援学校、小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語・算数・理科の3教科、中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までの学習内容とする。

(ウ) 出題内容は、学習指導要領に基づき、教科の目標及び内容に即した基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関わる内容とする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）を実施する。

(2) 学校に対する調査

学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）を実施する。

5 学年・教科ごとの調査実施児童生徒数（壬生町）

	国 語	算数（数学）	理 科	社 会	英 語
小学校4年生	285人	285人	283人		
小学校5年生	302人	302人	302人		
中学校2年生	290人	290人	290人	290人	290人

6 本調査の実施に関する壬生町教育委員会の考え方

- (1) 本調査は、各学校が児童生徒の学力・学習状況を的確に把握し、指導方法の工夫改善に役立てるために積極的に活用を行う。
- (2) 本調査は学校間、児童生徒個人の序列化や比較を行うものではない。
- (3) 壬生町教育委員会は、栃木県教育委員会の方針にしたがい、本町及び全小中学校の数値データを一括公表することは行わない。

7 とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果の概要

○小学校4年生の状況

【小学校4年国語】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均とほぼ同じ値である。

「活用」…県平均とほぼ同じ値である。

《領域別・内容別》

○「話すこと・聞くこと」の領域は県平均よりやや高い値であり、「書くこと」の領域は県平均より高い値である。

●「読むこと」の領域は県平均よりやや低い値であり、「情報の取り扱い方に関する事項」の領域は県平均より低い値である。

《出題形式別》

○「記述式」の正答率は県平均より高い値である。「短答式」の正答率は県平均よりもやや高い値である。

●「選択式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

【小学校4年算数】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均よりやや低い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

《領域別》

○「測定」「データの活用」領域は県平均よりやや高い値である。

●「数と計算」「図形」の領域は県平均よりやや低い値である。

《出題形式別》

○「選択式」「短答式」の正答率は県平均とほぼ同じである。

○「記述式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

【小学校4年理科】

《教科総合》…県平均よりやや低い値である。

「基礎」「活用」…県平均よりやや低い値である。

《領域・内容別》

○「生命・地球」の領域は県平均とほぼ同じ値である。「物質・エネルギー」の領域は県平均よりやや低い値である。

●内容的には「こん虫のからだのつくり」「電気の通り道」の分野を伸ばしていく必要がある。

《出題形式別》

●「選択式」「短答式」「記述式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

【小学校4年意識に関する調査】

○「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。

●「家で、学校の授業の予習をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている」「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」

●「授業では、自分の考えを発表する機会があたえられている」「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。

●「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。

以上のことから、家庭学習を調整する力や様々なことに挑戦する力に課題があるので、家庭と連携を図り、自己管理能力を向上させる指導の手立てが必要と思われる。、授業内における協働的な学びが充実しつつある一方で、自分の意見や考えを主張することや振り返り活動を充実させるための指導改善に努める必要があると思われる。

○小学校5年生の状況

【小学校5年国語】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均とほぼ同じ値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

《領域別・内容別》

○「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」の領域は県平均よりやや高い値である。

○「情報の扱い方に関する事項」の領域は県平均とほぼ同じ高い値である。

○「書くこと」の領域は県平均よりかなり高い値である。

●「読むこと」の領域は県平均よりやや低い値である。

●内容的に「漢字を書く」の分野を伸ばしていく必要がある。

《出題形式別》

○「選択式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

「短答式」の正答率は県平均より低い値である。

「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

【小学校5年算数】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均とほぼ同じ値である。

《領域・内容別》

- 「数と計算」「図形」の領域は県平均よりもやや高い値である。「変化と関係」「データの活用」の領域は県平均よりやや低い値である。

《出題形式別》

- 「選択式」「短答式」の正答率は県平均よりやや高い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均よりやや低い高い値である。

【小学校5年理科】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均よりやや低い値である。

《領域・内容別》

- 「物質・エネルギー」及び「生命・地球」の領域共に県平均とほぼ同じ値である。

《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均よりやや高い値である。
- 「短答式」「記述式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

【小学校5年意識に関する調査】

- 「学校の宿題は、自分のためになっている」「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」「難しい問題に出会うと、よりやる気が出る」「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いている」「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「授業を集中して受けている」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。

○中学校2年生の状況

【中学校2年国語】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

《領域別・内容別》

- 「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の領域は県平均よりかなり高い値である。
- 内容的に「文法・語句に関する知識」「文章を書く」の分野が優れている。

《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均よりやや高い値である。
- 「短答式」の正答率は県平均とほぼ同じである。

- 「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

【中学校 2 年社会】

《教科総合》…県平均よりやや低い値である。

「基礎」…県平均とほぼ同じ値である。

「活用」…県平均よりやや低い値である。

《領域別・内容別》

○領域「地理」は県平均とほぼ同じ値である。

●領域「歴史」は県平均よりやや低い値である。

●内容的に「日本の姿」の分野を伸ばしていく必要がある。

《出題形式別》

○「選択式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

●「短答式」の正答率は県平均より低い値である。

○「記述式」の正答率は県平均より高い値である。

【中学校 2 年数学】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均よりかなり高い値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

《領域・内容別》

○「図形」「関数」の領域は県平均よりかなり高い値である。

○「数と式」の領域は県平均より高い値である。

○「データの活用」の領域は県平均とほぼ同じ値である。

○内容的に「正の数・負の数」「空間図形」の分野が優れている。

《出題形式別》

○「選択式」の正答率は県平均より高い値である。

「短答」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

「記述式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

【中学校 2 年理科】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均よりやや高い値である。

「活用」…県平均より低い値である。

《領域・内容別》

○「エネルギー」の領域は県平均より高い値である。

○「粒子」の領域は県平均とほぼ同じ値である。

○「生命」「地球」の領域は県平均よりやや高い値である。

○内容的に「動物の分類」「力の性質」の分野が優れている。

《出題形式別》

○「選択式」「短答式」の正答率は県平均よりもやや高い値である。

●「記述式」の正答率は県平均よりもやや低い値である。

【中学校2年英語】

《教科総合》…県平均よりやや低い高いである。

「基礎」「活用」…県平均よりやや高い値である。

《領域別・内容別》

○「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域は県平均よりもやや高い値である。

《出題形式別》

○「選択式」「記述式」の正答率は県平均よりやや高い値である。

○「短答式」の正答率は県平均より高い値である。

【中学校2年意識に関する調査】

○「学校の宿題は、自分のためになっている」「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」「授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されている」「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いている」「授業を集中して受けている」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている」「授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる」「学級活動の時間に、友達同士で話し合っただてクラスのきまりなどを決めていると思う」「学校のきまりを守っている」「学校での役割や係の仕事に責任をもって取り組んでいる」「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。

●「家で、学校の授業の予習をしている」「学校の宿題の量はちょうどよいと思う」「勉強していて、『不思議だな』『なぜだろう』と感ずることがある」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。

以上のことから、各教科の特質を生かし、教科等横断的な視点から学習の基盤となる問題発見・解決能力の育成を図ることへの工夫が必要と思われる。